

まちの話題

市内各地で行われたイベントなどの話題をお届けします！



6/20 青年海外協力隊の塩谷真梨さんが表敬訪問

国際協力機構(JICA)の青年海外協力隊として東ティモールに派遣されることになった市内在住の塩谷真梨さんが、市長を表敬訪問しました。塩谷さんは、アフリカで働いた経験からボランティアへの参加を決意したそうです。東ティモールでは、病院で給食と栄養の改善などに携わります。



6/28 宮内の稲荷石塔が市指定文化財になりました！

宮内4丁目所在の稲荷石塔が市指定文化財になりました。この石塔は天和3(1683)年に造られたもので、舟のような形をした塔身部には、横を向いた狐が表現されています。口には蔵の鍵を咥え、尻尾の先には宝珠が配されています。保存状態もよく、当時の稲荷信仰を語る貴重な資料です。



7/2 7月は社会を明るくする運動の強化月間

社会を明るくする運動の一環として、北本市更生保護女性会の皆さんは募金活動を行い、市内の中学校に「愛の図書費」を贈呈しました。また、北本市保護司会と北本市更生保護女性会の皆さんが、北本駅前で犯罪や非行のない明るい社会の実現を呼びかけました。



7/4 青少年非行防止街頭キャンペーン

青少年の健全育成を図るため、市内の青少年関係団体、北本市青少年育成市民会議、青少年指導委員会の皆さんが、北本駅周辺で青少年の非行防止とメディア利用による被害防止に関するリーフレット等を市民の皆さんに手渡し呼びかけました。



7/6 第一生命保険株式会社大宮支社と「健康づくり支援」に関する協定を締結！

北本市は、第一生命保険株式会社大宮支社と「健康づくり支援における連携と協力に関する協定」を締結しました。今後、相互に連携し、多くの市民が健(検)診や健康づくり事業に参加できるよう情報発信を行い、「健康寿命」を伸ばすことを目指します。



7/10 北本市内の郵便局とまちづくり包括連携協定を締結！

北本市は、市内7つの郵便局と包括連携協定を締結しました。今後、安心・安全なまちづくりに関する取組み、市のブランド力向上の推進、観光や学校教育における地域貢献など、相互に連携・協力してまちづくりを進めます。



6/26 被爆者の体験を小学生に語り継ぐ

中丸小学校で5・6年生の児童・保護者を対象に広島の被爆体験伝承者、内田忠さんによる特別授業が開かれました。内田さんは、原爆被害の写真や絵を見せながら平和への思いについて語りました。児童からは「私たちも平和のために何かしていきたい」などの感想がありました。



6/30 北小児童が交通安全子供自転車埼玉県大会に出場

北小学校の6年生5人が第52回交通安全子供自転車埼玉県大会に出場しました。児童たちは鴻巣警察署と鴻巣地区交通安全協会の協力のもと1か月間練習し安全走行の知識と技能を身につけ大会に臨みました。児童は「緊張したけど、楽しくできてよかった」と、ほっとした様子でした。



**7/5 全国大会に出場する
北本チェリーズを応援しよう**

市内の少年野球チームに所属する女子児童(13人)で結成された“北本チェリーズ(西島和弘監督)”が埼玉県代表として8月に愛媛県で開催されるNPBガールズトーナメント2018全日本女子学童軟式野球大会に出場することとなり、市長を表敬訪問しました。選手の皆さんは、全国大会に出場できることに感謝し、チーム一丸となり、全力でプレーすることを市長と約束しました。

突撃!
市民リポーター

おはなしの世界

「むか～しむかし、あるところに…」とおはなしが始まると、もうすっかり物語の世界に引き込まれ、わくわくドキドキ、思わず笑ってしまう場面や胸にせまるくだりなど、子どもでも大人でも空想の中で遊ぶことができます。

今回わたしは『おはなしボランティア』でおなじみの「北本子どもの本を楽しむ会」のおはなし会と学習会取材しました。語り手がつむぎ出すおはなしの世界を実際に体験して、子どもたちがおはなしに夢中になるはずだ!と納得。子どもが情景をイメージしやすいペースや抑揚、表情、てあそびやわらべうたなども学ぶことができますので、気軽に学習会を見学するのもいいかもしれません。(※9月～10月の金曜日に公開学習会が開かれる予定です)

子どもが何度も同じおはなしをせがんでくるのは、そのおはなしが楽しく、楽しい経験を何度も繰り返したいからだそうですよ。夏休み中は図書館などで子ども読書まつりが開催されていますので、ぜひ子どもも大人も心に残る一冊を見つけてくださいね!

大人のためのおはなし会

子ども読書まつり (7/13～8/31)

詳しくは市ホームページへ

リポーター **大嶋 佐知さん**